

FY 23

# インパクトをもたらす投資



International  
Finance Corporation  
WORLD BANK GROUP

*Creating Markets, Creating Opportunities*



# 目次





インパクトをもたらす投資

# IFC 概観



## IFCとは

- 世界銀行グループの一員であり、民間セクター投融資を通じた開発促進を使命とする
- 186の加盟国
- 60年超にわたる新興市場の民間セクター向け投融資（融資、債券、保証、他のフィクストインカムの商品を含む）の提供
- 戦略的優先事項として、市場や機会の創出と開発、開発のための民間資本の動員、企業や政府へのアドバイスに従事
- 世界100ヶ国を超えるグローバルなプレゼンスと1,800社を超える民間セクター顧客との協働





## 比類なき立場の発行体

- AAA/Aaa格付けを維持
- バーゼルフレームワークの下でリスクウェイトはゼロパーセント
- 厚い自己資金：純資産（資本金及び内部留保）がバランスシートの4分の1以上
- 2023年度（FY23）の資金調達プログラムは120億米ドル（50億ドルの割引債プログラムを除く）を計画
- 117カ国に及ぶ多様なビジネスポートフォリオ
- 流動性カバレッジ比率が最低要件を上回るなど、強固な流動性ポジションを確保



## 5つの組織、1つのグループ

世界銀行グループは、途上国の貧困を削減し、繁栄を築くための持続可能な解決策に取り組む5つの機関から構成される、ユニークなグローバル・パートナーシップです。

世界銀行グループは2つの意欲的な目標を採択：

- 極度の貧困の撲滅：1日1.90米ドル未満で生活する人々の割合を2030年までに世界の3%以下に減らす
- 繁栄の共有の促進：開発途上国における所得下位40%の人々の所得増加を促進する



### 国際開発協会 (IDA)

最貧国の政府を対象に無利子の融資や贈与を提供

Issues bonds under:  
IDA



### 国際復興開発銀行 (IBRD)

中所得国および信用力のある低所得国の政府を対象に融資を提供

Issues bonds under:  
World Bank



### 国際金融公社 (IFC)

途上国の民間セクター向けに投融資、アドバイザリー・サービスを提供

Issues bonds under:  
IFC



### 多数国間投資保証機関 (MIGA)

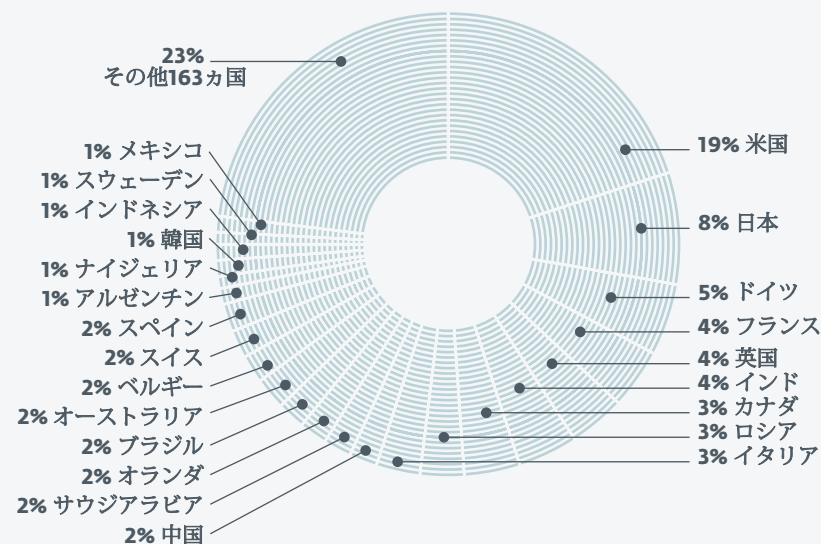
対外直接投資(FDI)の非商業的リスクに対する保証を提供

### 投資紛争解決 国際センター (ICSID)

国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供

## 加盟国からの強力なサポート

- IFC は世銀グループに属し、独自の設立協定、バランスシート、職員を有する独立した機関
- 186の加盟国: 株主は加盟国政府
- IFCの加盟国は、総務会と理事会を通じて、そのプログラムと活動を決定、理事会に提出される事案の議決権は、株式資本に応じて配分
- 資本金の50%をAAA/AA 格の加盟国が出資
- 配当金支払不要、課税免除：利益は加盟国のうち途上国への投資に振り分ける
- 2018年度、加盟各国は IFC に対する55億米ドルの歴史的な増資を承認



IFCは、概して、世界銀行のガバナンス指標での評価が高い多様な国々を株主としており、- また、エキスパタイズ（専門性）を備えた組織運営とリスクへの対処がこれを補強しています。

IFC は、IDA 適格国および FCS 国（紛争影響下の脆弱国）へのエクスポージャーの増加に伴うリスク増加に対応できる体制を備えています。

スタンダード&プアーズ  
2022年2月25日

安定的（Stable）との見通しは、IFCが今後数年間、強固な自己資本と流動性バッファを維持するとの予想を反映したものです。また、IFCの慎重なリスク管理が行われ、資金余力のある株主の支援姿勢が堅調に継続するとみられています。

ムーディーズ  
2021年12月11日

# IFCの業務

## 投融資

- ローン・債券等
- 株式投資
- 貿易およびコモディティ金融
- 金融派生商品（デリバティブ）  
およびストラクチャード・ファイ  
ナンス
- ブレンド型金融

- **FY22 は328億ドルを承認\***
- 承認済みポートフォリオの残高は  
625億ドル

## アドバイザー

ソリューションと技術支援  
を以下に提供

- 企業
- 金融機関及びファンド
- 産業界
- 政府

- **FY22のアドバイザー業務  
収入は233百万ドル**

## 資金動員

- シンジケーション
  - **B** ローン
  - パラレルローン
  - 協調融資運用ポートフォリオ・  
プログラム (**MCPP**)
  - 信用保険
  - 現地通貨建てシンジケーション
  - グリーンローン シンジケー  
ション
- **IFC アセットマネジメントカン  
パニー(AMC)\*\***

- **5年間の協調融資総額は257億ドル**
- **AMCの下、11のファンドを通し  
て101億ドルの資産を運用**

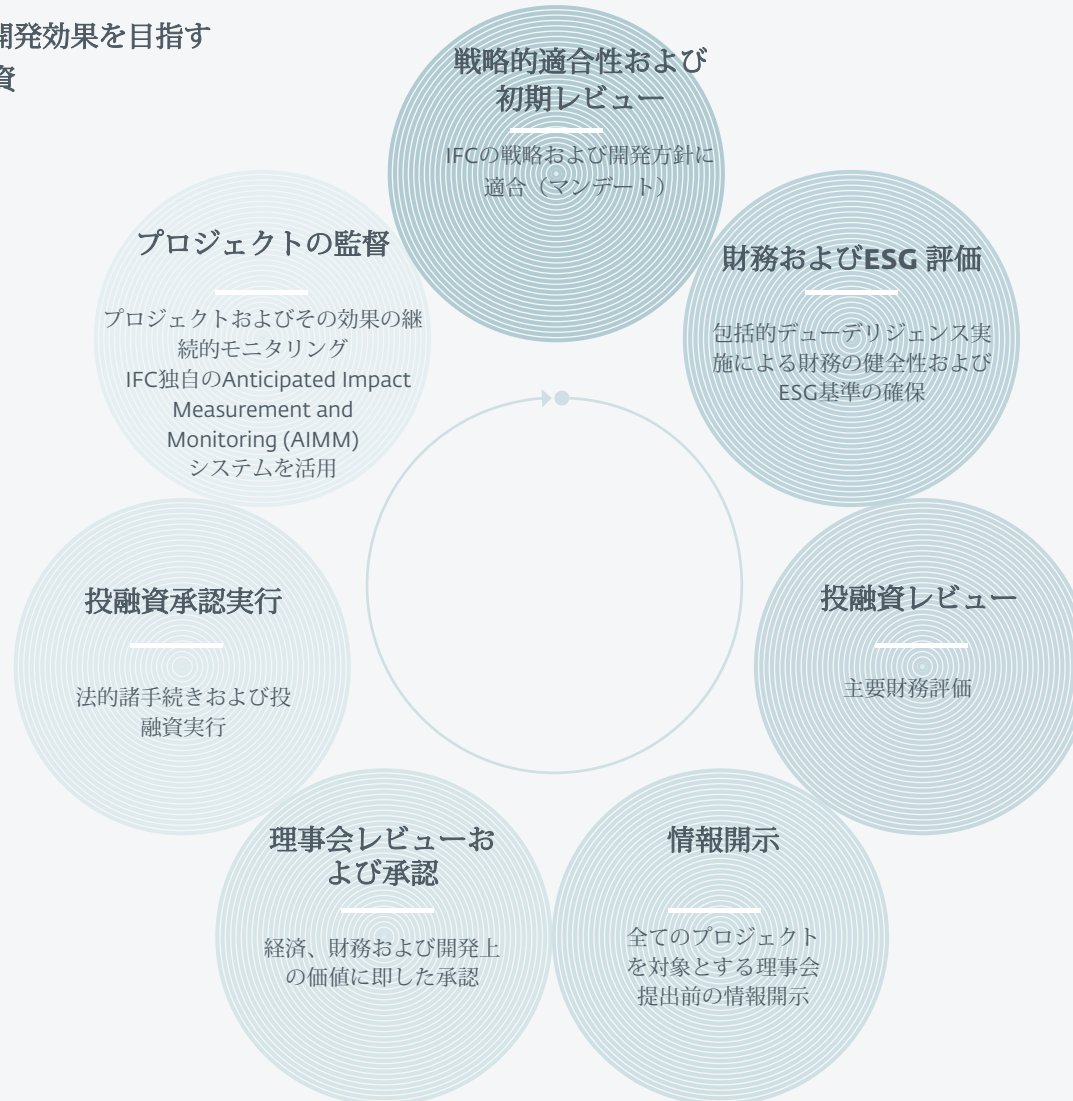
\* 232億ドルの長期資金コミットメントと97億ドルの短期資金コミットメント

\*\* 2020年3月31日より、IFC Asset Management Company (AMC) はIFCに統合



# 投融資プロジェクトサイクル

IFCは十分な経済収益性と開発効果を目指す  
生産性の高い民間企業に投資



# IFCの経営戦略（FY23-25）

## 継続的な救済・復興 支援活動

継続的な危機対応（貿易、雇用、食料安全保障）と復興支援

## 脆弱性への重点的対応

IDA適格国、紛争影響下の脆弱国（FCS）及び中所得国に於ける脆弱性、紛争、避難民の増加に対応

## 気候変動への対応とエネルギー転換

加速する気候危機への民間セクターにおける解決策

## デジタル・トランスフォーメーション

全産業・全地域でデジタル・トランスフォーメーションを推進

## 医療のレジリエンス

サプライチェーンの現地化を通じて、医療のレジリエンスとワクチン展開を支援

長期戦略「IFC 3.0」の下でのビジネスモデルは、市場創出を支援するためのより慎重かつ体系的な経営モデルであると言えます。この戦略の成功は、FCSやIDA適格国へのエクスポージャーの増加、IFCのアドバイザーサービスの利用の拡大、協調融資プラットフォーム、リスク軽減や信用補完商品の増加をもたらし、中期的には企業のリスクプロファイルの強化につながっていくでしょう。

スタンダード&プアーズ  
2022年2月25日

# 持続可能性：国連のSDGsへの貢献

## IFCによる複数セクターへのインパクト

### 世界銀行グループ 二大目標



IFCが掲げる2つの目標:  
2030年までに極度の貧困を撲滅し、繁栄の共有を促進する

IFCは複数のセクターや地域にまたがり、以下の推進に取り組んでいる：

- > 雇用の創出と経済成長
- > ジェンダー平等
- > 環境と社会の持続可能性
- > 気候変動への適応と緩和
- > 民間投資家との関係強化を通じた新たな資金の呼び込み

## IFCによるセクター別インパクト



下記の戦略的分野に対する投融資・アドバイザーサービスの推進:

- > インフラ
- > 農業
- > 金融包摂（ファイナンス・インクルージョン）
- > 保険医療、教育



# 持続可能性：IFCのミッションの中核、顧客の成功に必要なこと

IFCがファイナンスを提供するすべてのプロジェクトは透明性と説明責任に焦点をあてた厳格な環境・社会配慮要件を遵守  
エクセーター原則は、環境・社会リスクを可能な限り正確に特定・評価・管理するために資金調達機関が採用している原則で、IFCのパフォーマンス・スタンダードと相互に関連しています。

具体的なパフォーマンス・スタンダードは以下の通りです。



環境、社会リスクと影響の評価・管理



地域社会、保健衛生、安全及び 保障



労働と労働条件



土地取得と非自発的な移住



生物多様性の保全と自然環境の持続可能な管理



文化的遺産



資源効率性と公害防止



先住民

# IFCの開発効果

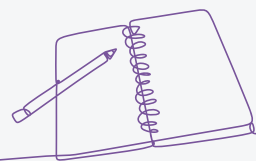
開発効果は暦年ベースで測定

2022年にはIFCの民間セクターの顧客1,800社で以下の各項目に貢献



## 農業と林業

雇用 **438** 百万  
農家 **35** 億



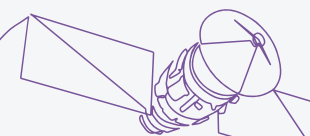
## 医療と教育

雇用 **309** 百万  
患者 **41** 百万  
生徒 **0.8** 百万  
女子学生 **0.4** 百万



## インフラ

雇用 **190** 百万  
発電 (GWh) **98** 百万  
利用者(百万)  
発電 **59**  
配電 **11**  
配水 **3**  
航空旅客 **2**  
空港旅客 **18**



## 通信及び情報技術

雇用Employment **21** 百万  
リテールの接続  
固定/インターネット **62** 百万  
固定/携帯電話 **91** 百万



## 金融機関

マイクロ・ファイナンス  
融資 **44** 百万  
**1080** 億ドル  
中小危機企業向けファイナンス  
融資 **15** 百万  
**52 20** 億ドル

インパクトをもたらす投資

# 強固な財務基盤





## 保守的なバランスシート

資産		負債・資本	
正味流動資産	41.7	借入金	48.3
投融資 (準備金 1 2 億米ドルを除く)	44.1	その他負債	17.9
正味貸付金	26.22	純資産（自己資本）	32.8
株式投資	11.13	払込済資本*	21.7
債券	6.73	内部留保、その他	11.1
その他の資産	13.2		
<b>資産合計</b>	<b>99.01</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>99.01</b>

2022年6月30日時点（単位：10億ドル）

\* 増資プロセスの一環として、2020年4月に170億ドルの利益剰余金を資本金に転換

# IFC とAAA格付の国際機関の比較表

	<b>IFC</b> International Finance Corporation	<b>IBRD</b> International Bank for Reconstruction and Development	<b>IADB</b> Inter-American Development Bank	<b>ADB</b> Asian Development Bank	<b>AfDB</b> African Development Bank	<b>AIIB</b> Asian Infrastructure Investment Bank	<b>EBRD</b> European Bank for Reconstruction and Development	<b>EIB</b> European Investment Bank
<b>Business</b>	Lends to and invests in <b>private enterprises</b> in developing countries	Provides loans to <b>public sector</b> in developing countries	Provides financing to Latin American and Caribbean economies	Provides financing to countries in the Asia Pacific region	Lends to and invests in development projects in Africa	Invests in infrastructure and other productive sectors in Asia	Lends to and invests in <b>private enterprises</b> in Eastern and Central European North and sub-Saharan African and Asian economies	Provides financing to EU Member States and countries around the world
<b>Ownership</b>	186 member countries	189 member countries	48 member countries, consisting of Latin American and OECD countries	68 member countries, of which 23 are OECD countries	54 African member countries and 27 non-African member countries	103 members, of which 50 are regional and 53 non-regional members	71 members – 69 countries, the EU and the EIB	27 member states of the EU
<b>Total Assets</b> (USD billions)	<b>\$99</b>	<b>\$317</b>	<b>\$152</b>	<b>\$282</b>	<b>\$51</b>	<b>\$40</b>	<b>\$85</b>	<b>\$642</b>
<b>Liquidity</b> Liquid Assets / Total Assets	<b>42%</b>	<b>26%</b>	<b>26%</b>	<b>16%</b>	<b>37%</b>	<b>34%</b>	<b>45%</b>	<b>19%</b>
<b>Leverage</b> Total Liabilities / Total Liabilities + Shareholders' Equity (excluding callable capital)	<b>67%</b>	<b>83%</b>	<b>76%</b>	<b>72%</b>	<b>74%</b>	<b>49%</b>	<b>71%</b>	<b>86%</b>
<b>Net Income (Loss)</b> (USD millions)	<b>\$(464)</b>	<b>\$2,039</b>	<b>\$610</b>	<b>\$1,372</b>	<b>\$198</b>	<b>\$175</b>	<b>\$341</b>	<b>\$2,012</b>
<b>Total Shareholders' Equity</b>	<b>\$33</b>	<b>\$55</b>	<b>\$35</b>	<b>\$53</b>	<b>\$12</b>	<b>\$20</b>	<b>\$23</b>	<b>\$86</b>

Source: Crédit Agricole CIB. Audited financial statements of each institution as of 31 December 2021, except for IFC and IBRD, where audited financial statements as of 30 June 2022 were used.

Figures for AfDB (in UA) were translated into US dollars using 2021 year-end exchange rate of 1UA = \$1.40;

Figures for EBRD and EIB (reported in EUR) were translated into US dollars using year-end exchange rate of €1 = \$1.137

IFC and IBRD financials are reported under US GAAP. Financial results may not be comparable due to different accounting standards.

## 強固なファンダメンタルズ

IFCは慎重な財務規律を実行

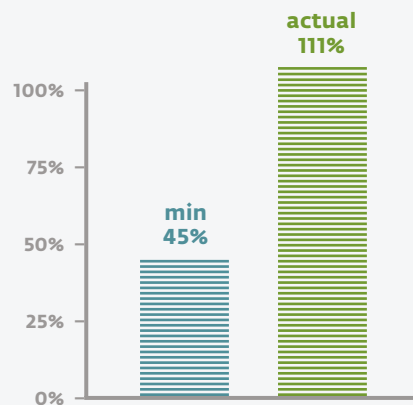
- IFCは国際機関の中で レバレッジ比率が最も低い機関の一つ
- IFCの株式投資は借入金ではなく純資産を使って行われる

安定的（Stable）との見通しは、IFCが、高い自己資本と強い流動性に支えられ、極めて強い財務リスク特性を維持し、強固なリスク管理政策の継続が期待できることをS&Pグローバルレーティングスが評価していることを反映している。

スタンダード&プアーズ  
2022年2022年2月5日

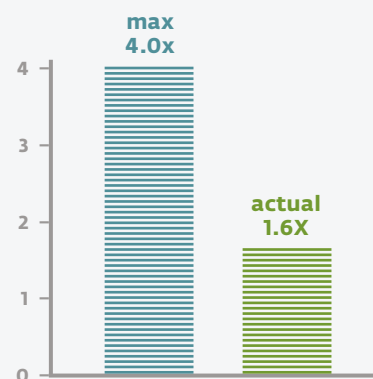
### 流動性比率

向こう3年間の正味現金需要想定額に対する割合



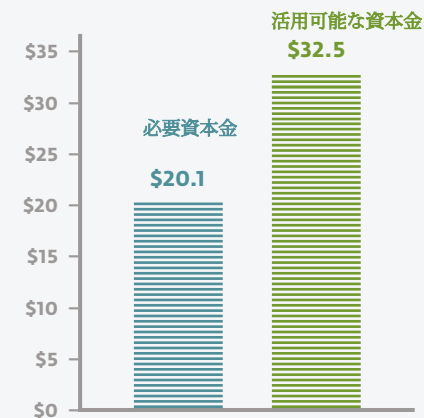
### レバレッジ

純資産に対する負債の割合(倍率)



### 資本活用比率（Capital Utilization Ratio）：62%

10 億米ドル

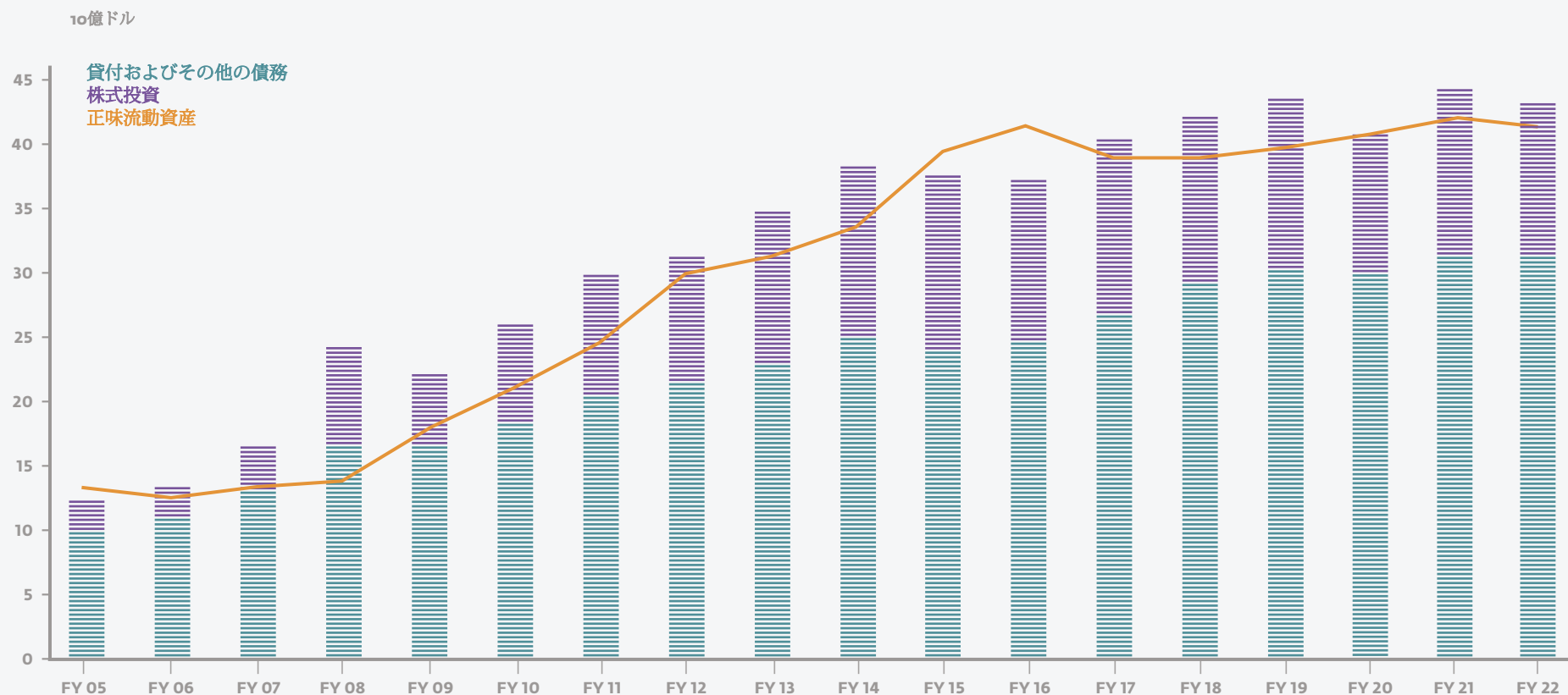




## 資産の継続的な拡大

IFCの成長はそのほとんどが内部留保により賄われている

IFCの実行済投融资額および正味流動資産（各会計年度末）



## 高い流動性

### 417億米ドルの正味流動資産

総資産の40%に相当

### プロアクティブな投資アプローチ

資本保全にフォーカス

### 質の高い流動資産への投資

政府あるいは政府保証付債券や国際機関、高格付企業が発行する債券ABS/MBS や預金も対象

### マーケットリスクをヘッジ

主に通貨・金利スワップ、金融先物を中心としたデリバティブを用いてヘッジ

### 分散

複数の市場にまたがる分散により好リスクリターン・プロファイル を確保

IFCの流動性比率は、IFCの強固な財務リスクプロファイルを裏付けるものであり、ストレスのかかる市場環境下で資本市場へのアクセスがなくとも、少なくとも1年間は計画通りにマンデートを遂行できることを示している。

スタンダード&プアーズ  
2022年2月25日

## 収益実績

- 財務実績は、不安定な新興国株式市場の影響を大きく受けた
- FY21の42億ドルの純利益に対し、FY22は4億6400万ドルの純損失を計上
- 21年度の純利益には、COVID-19の影響から市場が回復した際に生じた33億ドルの未実現投資利益が大きく含まれていた

Fiscal Year *	2022	2021	2020	2019	2018	2017
Income from loans and guarantees, net of provisions for losses	1,030	1,317	872	1,687	1,287	1,212
Income (Loss) from equity investments	208	3,201	(1,067)	(253)	853	707
Income from debt securities	414	340	231	126	363	282
Income from liquid asset trading activities	(413)	327	1,039	1,291	771	917
Charges on borrowings	(302)	(326)	(1,181)	(1,575)	(1,041)	(712)
Other income	419	595	559	622	578	528
Other expenses	(1,653)	(1,687)	(1,628)	(1,746)	(1,662)	(1,621)
Unrealized gains (losses) on non-trading activities and foreign currency transaction gains (losses)	(153)	658	(497)	(59)	211	206
Grants to IDA	-	(213)	-	-	(80)	(101)
Operating income	(235)	3,616	(1,031)	311	1,272	1,129
Net income (Loss)	(464)	4,209	(1,672)	93	1,280	1,418

IFCの会計年度末は6月30日、単位:100万ドル



インパクトをもたらす投資

# コア・ビジネス・ ポートフォリオ

## ポートフォリオリスク管理

- リスクベースの貸付金利設定
- 貸付にマッチした資金調達を行い、通貨、金利、マチュリティーリスクを管理
- 与信集中リスクを削減するための、厳格な投融資ポートフォリオ分散化ガイドライン

### 企業別

個別信用格付に基づき取引先および  
関連取引先グループに対する リスク  
ベースの上限を設定

### セクター別

ファイナンスおよび保険エクスポ  
ージャー総額に上限を設定し、セク  
ターに対する経済資本を国に対する  
上限の50%に制限

### 国別

カントリーエクスポージャーとして  
経済資本に基づく上限を設定

IFCは非常に強固なリスク管理により、事業プロフィール  
に関連するリスクを制御しており、大きな資本バッファー  
により、ストレス下であってもその活動を継続することが  
できる。IFCは最高レベルのリスク管理を実践しており、  
開発関連資産に関連するリスクを限定している。

ムーディーズ  
2021年12月11日

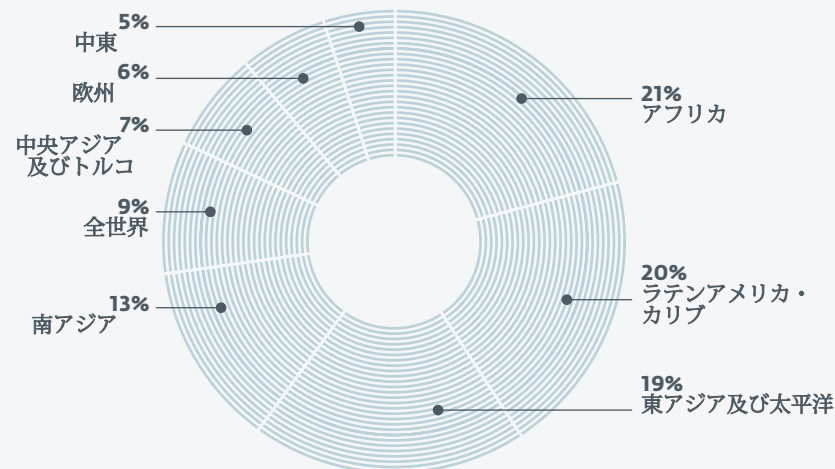
# 高度に分散したグローバル・ポートフォリオ

- 世界117ヶ国、1,800社超の企業に投融資エクスポージャーを保有
- 上位5カ国のエクスポージャーがポートフォリオ全体に占める割合は32.3%
- 上位10カ国のエクスポージャーがポートフォリオ全体に占める割合は47.5%
- IFCのポートフォリオは幅広い産業やセクターへ分散

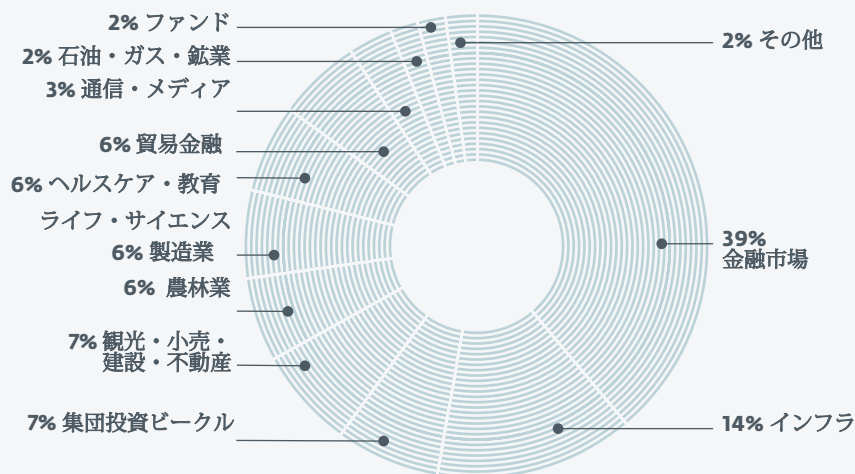
IFCのポートフォリオは高度に分散化されており、これはその規模の大きさとグローバルなプレゼンスを反映している。実際、ポートフォリオにおける国の集中度は我々が格付している国際開発金融機関よりも低い。IFCの全般的な信用リスクは、非常にきめ細かく、幅広く分散された開発資産ポートフォリオによってある程度軽減されている。

ムーディーズ  
2021年12月11日

コミット済ポートフォリオの地域別内訳



コミット済ポートフォリオの産業別内訳



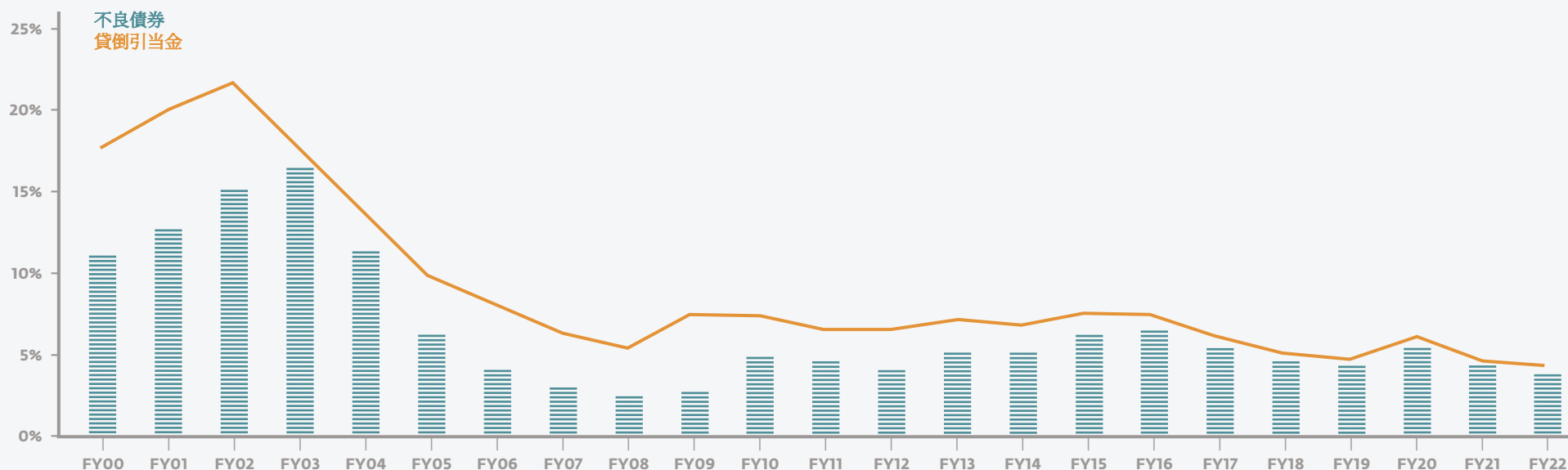
## 良質なローンポートフォリオ

- 低い不良債権比率：**60日**以上延滞債権を不良債権と分類
- 四半期ごとにポートフォリオ全体をレビュー
- 貸倒引当金の総額は実行済ローンポートフォリオの4.4%（12億米ドル-2022年6月30日現在）

商業債権者が為替規制を課された場合でも、IFCは当該規制を免除されてきた。

スタンダード&プアーズ  
2022年2月25日

実行済ローンポートフォリオに対する割合（%）





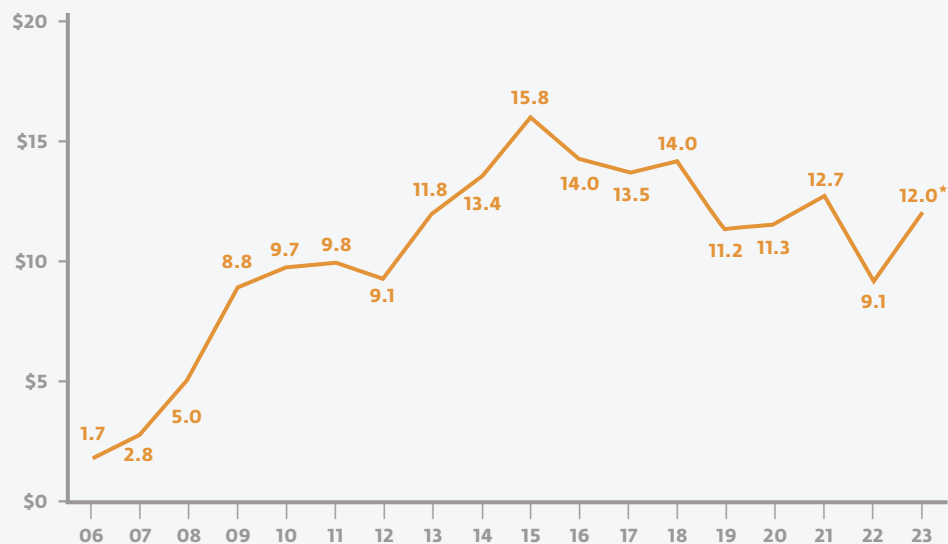
インパクトをもたらす投資

# 資金調達プログラム

# IFCの資金調達プログラム

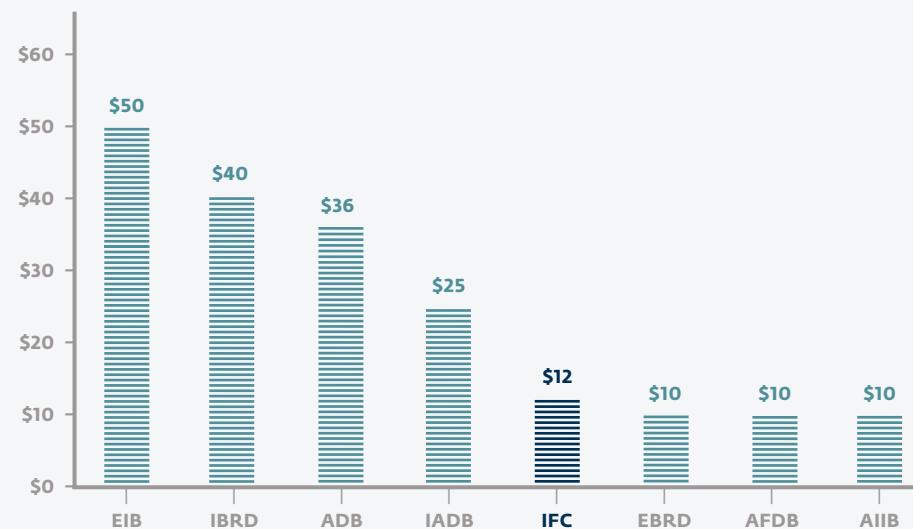
IFCの資金調達プログラム 貸出ニーズや流動性の状況により変動します。

IFCの年間資金調達額\*\*  
(10億米ドル)



\* T2023年度 (FY23) 分は目標値

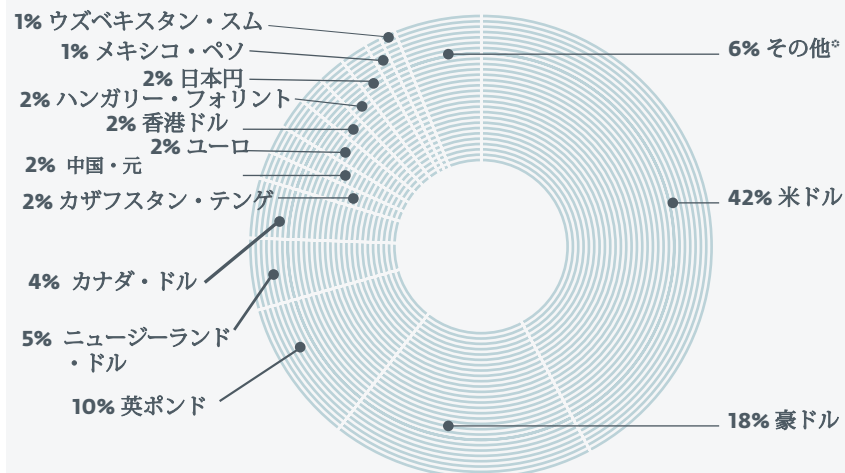
IFCおよび他の国際機関の現行資金調達プログラム  
(10億米ドル)



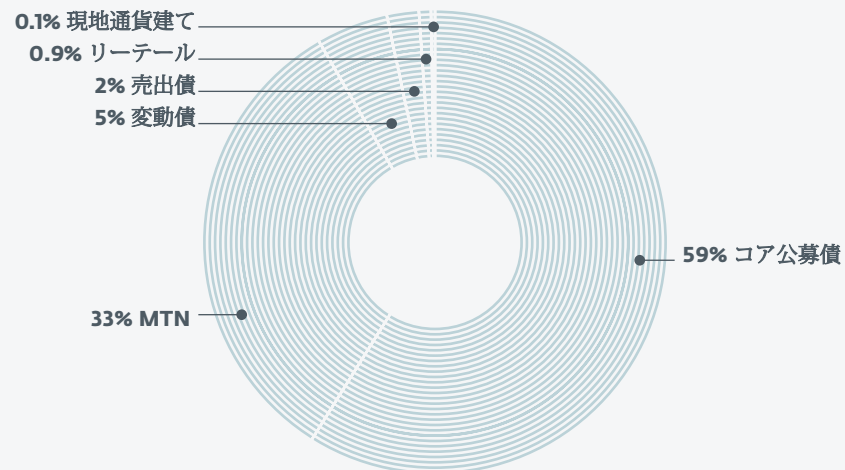
## 多様な市場、通貨による資金調達

- IFC は2000年以降、グローバル・ベンチマーク債 を毎年発行
- IFCは公募債発行による資金調達を、グリーン/ソーシャルボンド、売出质、私募債、割引債のような多種多様な市場にアクセスすることで補完
- 中国、ドミニカ共和国、インド、ナミビア、ナイジェリア、ペルー、ルワンダ、ザンビア及びその他の国々における初めての非居住者発行体
- 米ドル建て融資を基本とする国際開発金融機関として、借入の大部分は米ドル建て変動金利（compounded Secured Overnight Financing Rateベース）にスワップ

通貨別の調達内訳（FY22）



市場別の調達内訳（FY22）



# 米ドル建てグローバル・ベンチマーク債市場

## 世界トップクラスの信用力

- IFCは2000年以降、米ドル建てのベンチマーク債をグローバル形式で発行
- 現在の米ドル建てグローバル債の発行残高10本、そのうちの3つはグリーンボンド、1つは ソーシャルボンド、総額142億米ドル
- IFCは国際機関の中で、初めてSOFRベースでのマーケティングとプライシングによる固定利付債を発行

### 最近のグローバル・ベンチマーク債の発行実績:

- 5年債 - IFC 0.75% Oct 2026年10月償還、20億米ドル、ISOFR m/s+ 19, T+8.65bpsでローンチ
- 10年債 - IFC 0.75% 2030年8月償還、10億米ドル、m/s+18bps、T+17bpsでローンチ
- 5年債 - IFC 0.375% 2025年7月償還、20億米ドル、m/s+10bps、T+13bpsでローンチ
- 5年債 - IFC 1.375% 2024年10月償還、20億米ドル、m/s +11bps, T +8.9bpsでローンチ
- 3年債 - IFC 3.625% 2025年9月償還、20億米ドル、SOFR m/s+25bps, T+12.5bpsでローンチ

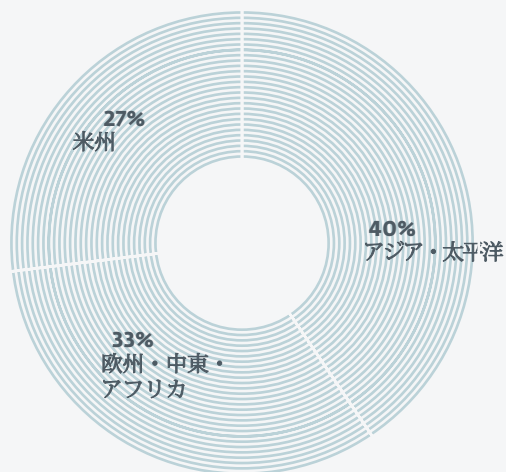
### 最近のSRIベンチマーク債の発行実績:

- グリーンボンド - IFC 2% 2022年10月償還、10億米ドル、m/s+3bps、T+11.8bpsでローンチ
- ソーシャルボンド - IFC 0.50% 2023年3月償還、10億米ドル、m/s+13bps、T+4.4bpsでローンチ
- グリーンボンド - IFC 2.125% 2026年4月償還、7億米ドル、2016年3月 m/s+44bps、T+29.5bpsでローンチ;2016年7月 m/s+31bps、T+22.25bpsで5億米ドル増額発行

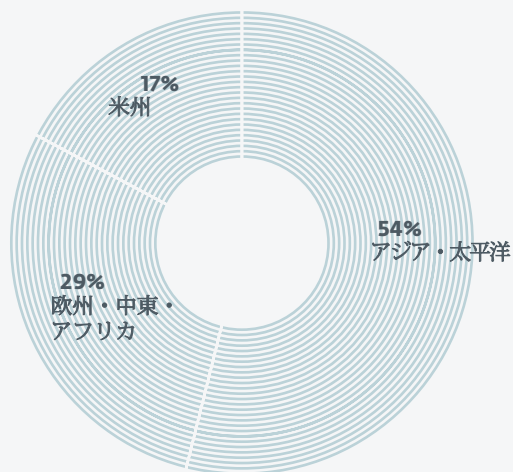


# 米ドル建てグローバル・ベンチマーク債の販売状況

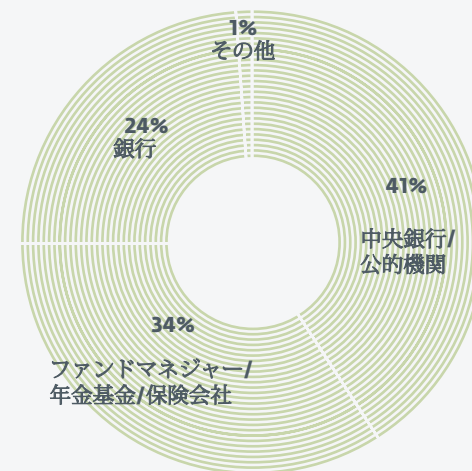
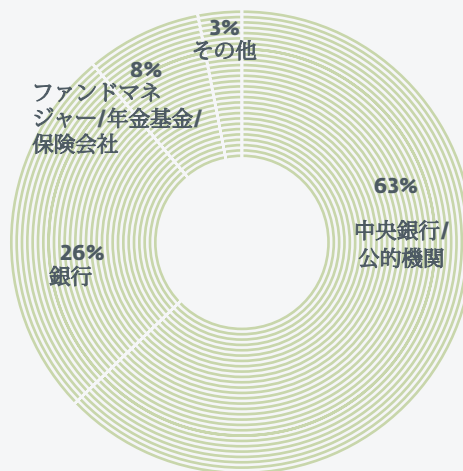
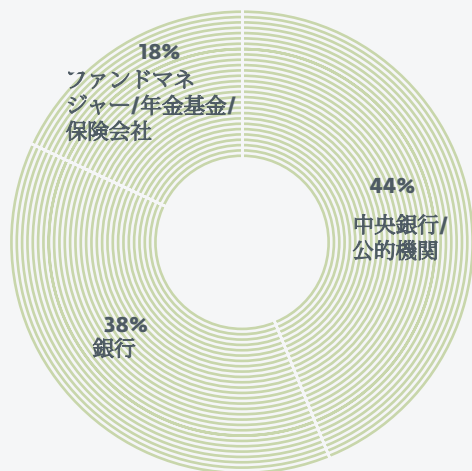
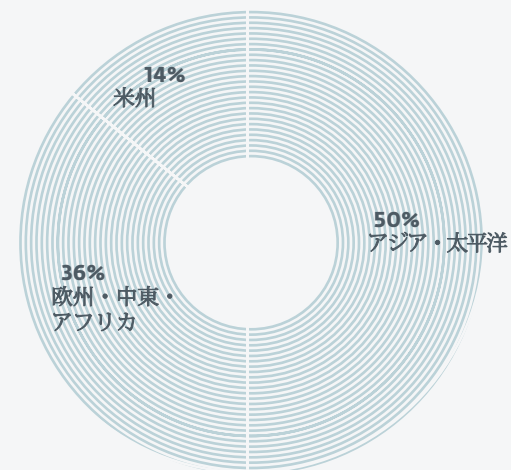
20億米ドル、2026年10月償還  
(2021年8月発行)



20億米ドル、2025年7月償還  
(2020年7月発行)

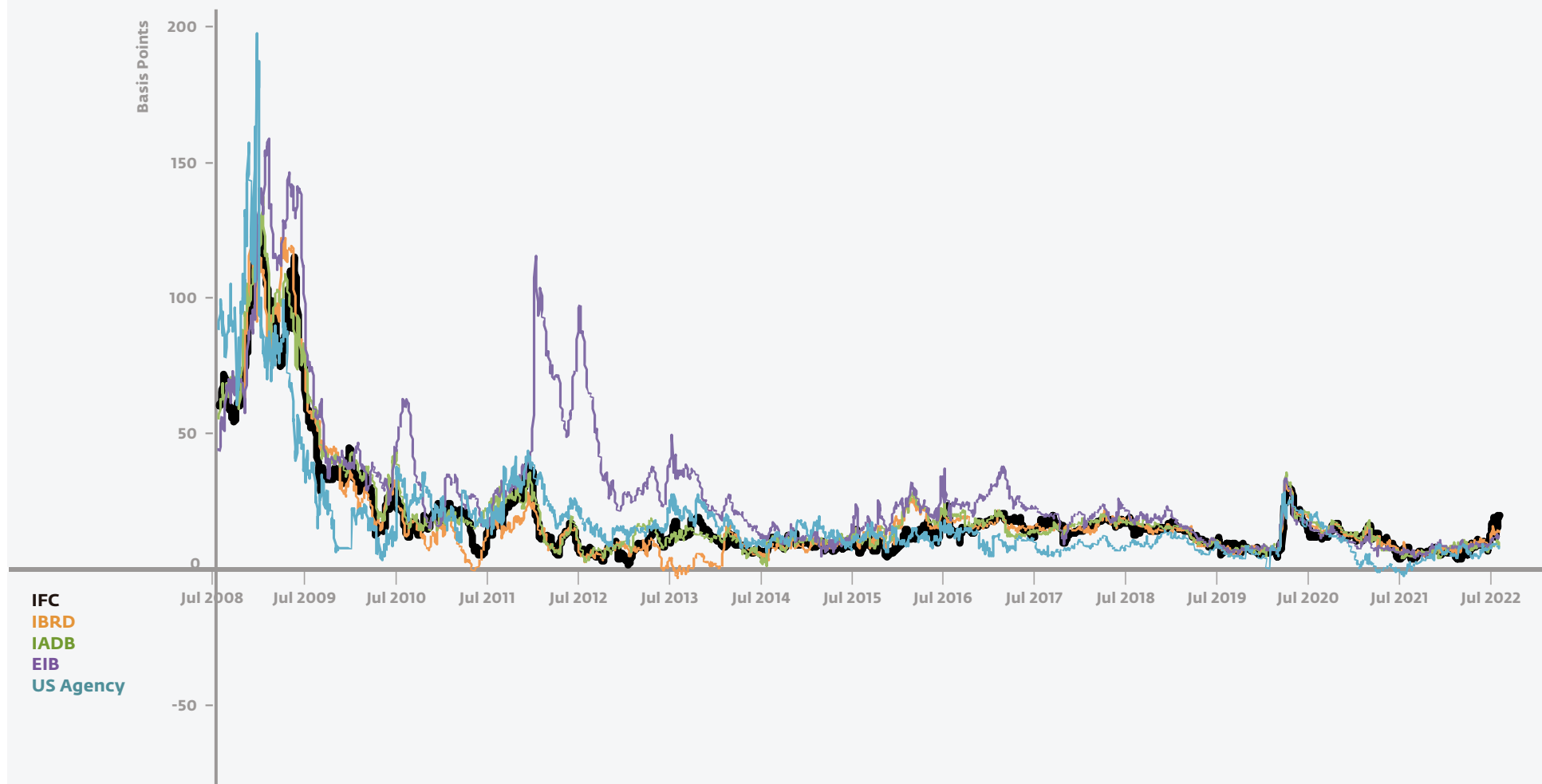


10億米ドル、2030年8月償還  
(2020年8月発行)



## 米ドル建てグローバル・ベンチマーク債米国債に対するパフォーマンス

IFCおよびその他の国際機関のベンチマーク債（5年）の対米国債スプレッド



## 豪ドル建て国内債券市場（カンガルー債）

豪ドル債は IFC にとって 重要な市場

- 成長する国内及び国際的投資家層に向けた魅力的な条件での資金調達

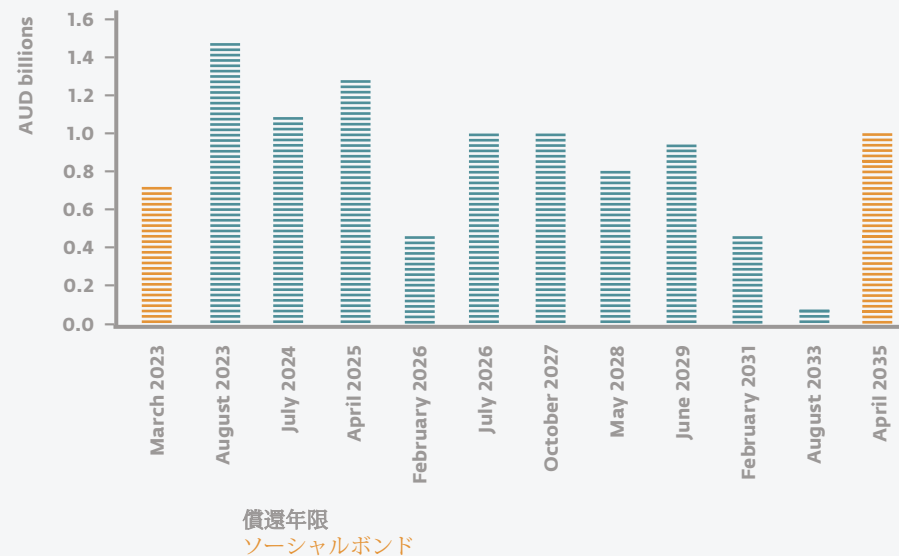
豪ドル債市場への IFC のコミットメント:

- 2007年、豪ドル建て国内債発行プログラムを設定
- カンガルー債発行残高：115億豪ドル超（2022年8月現在）
- IFCカンガルー債のイールドカーブを確立

IFC 債は豪国債に対する 魅力的なイールド・ピックアップを提供

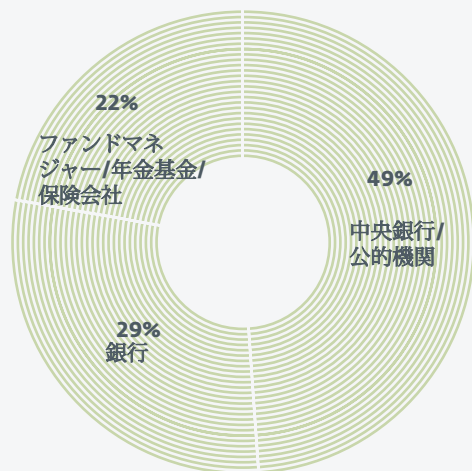
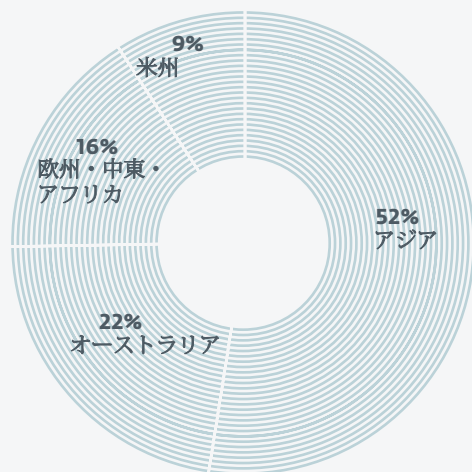
IFC の豪ドル建て国内債はオーストラリア準備銀行（RBA）とのレポ取引適格債券

IFCカンガルー債発行残高

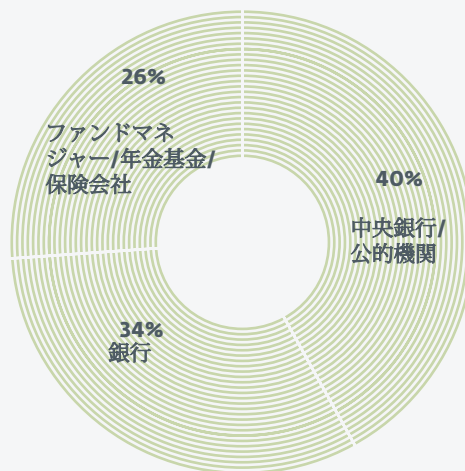
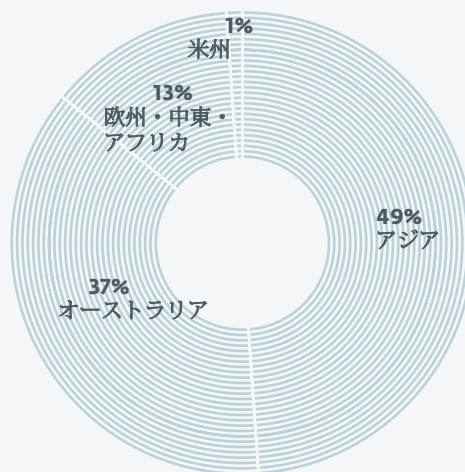


# カンガルー債の販売状況

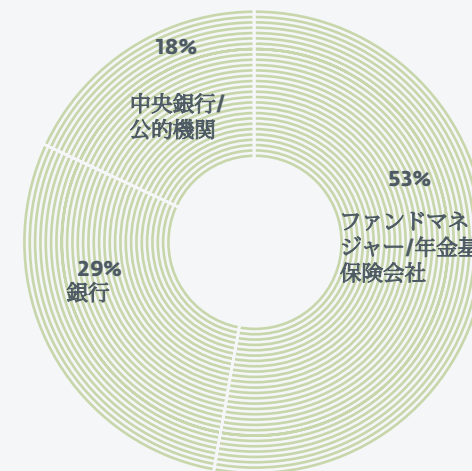
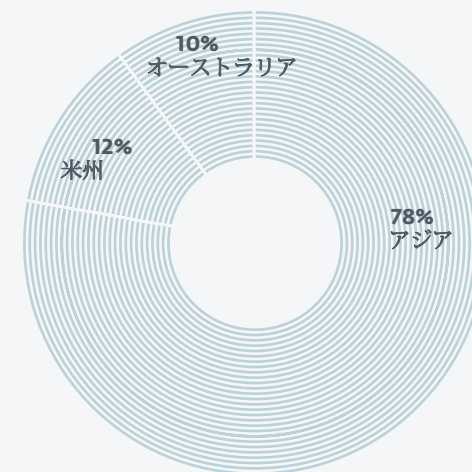
5.0億豪ドル、2026年2月償還  
(2022年8月発行)



11.5億豪ドル、2028年5月償還  
(2020年11月発行)



5.25億豪ドル、2031年2月償還  
(2020年8月発行)





# サステナブル・ボンド・プログラム（テーマ債）

IFCはグリーンボンド原則及びソーシャルボンド原則に則った2つのテーマ債を発行

## グリーンボンド

プログラム開始: 2010

資金使途: 再生可能エネルギー、エネルギー効率化、グリーンバンキング等の気候変動関連プロジェクト

グリーンボンドに関するより詳しい情報や、IFCのインパクトレポートについては、下記のウェブサイトからご覧いただけます

[www.ifc.org/greenbonds](http://www.ifc.org/greenbonds)



## ソーシャルボンド

プログラム開始: 2017

資金使途: 途上国において、生活に必要なサービスにアクセスできない人々に焦点をあて、各種サービスの提供や雇用創出に取り組むプロジェクト

ソーシャルボンドに関するより詳しい情報や、IFCのインパクトレポートについては、下記のウェブサイトからご覧いただけます

[www.ifc.org/socialbonds](http://www.ifc.org/socialbonds)



## MTNと仕組債

IFC はプレーンバニラ債および仕組債の活発かつ柔軟な発行体としてのポジション

を維持する方針

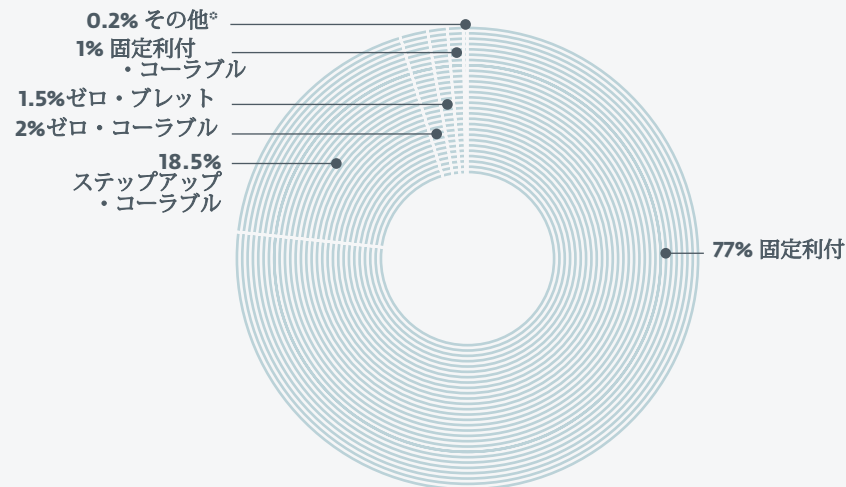
IFC は現在、以下の債券を発行：

- 金利連動債、為替連動債、株価指数連動債、バミューダおよびヨーロピアン・コーラブル債、ハイブリッド債
- 最低発行規模は500万米ドル相当、年限は1～30年

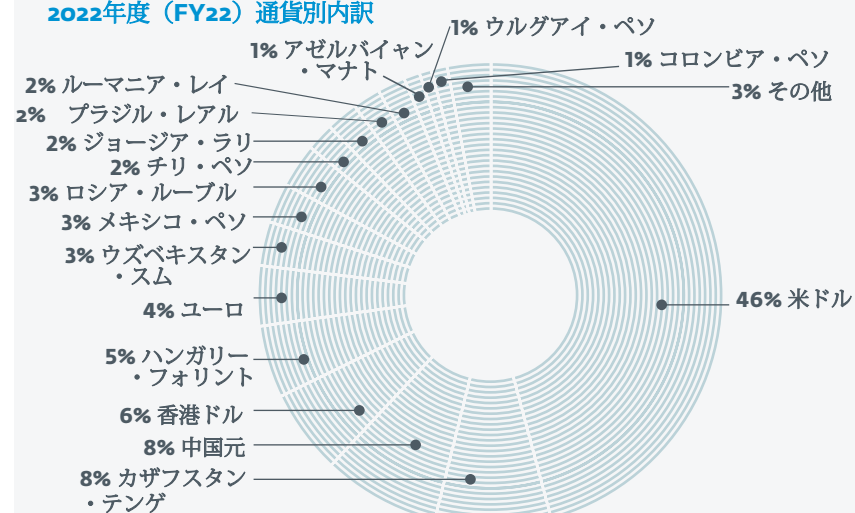
2022年度（FY22）の MTN 発行総額は22通貨建てで29.8億米ドル

IFC は流動性のバックストップとしての役割を果たすために活発な買戻し（バイバック）プログラムを実施

2022年度（FY22）債券種類別内訳



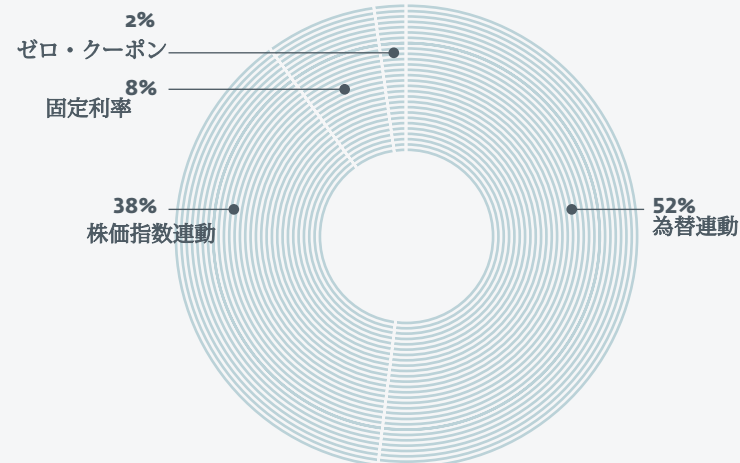
2022年度（FY22）通貨別内訳



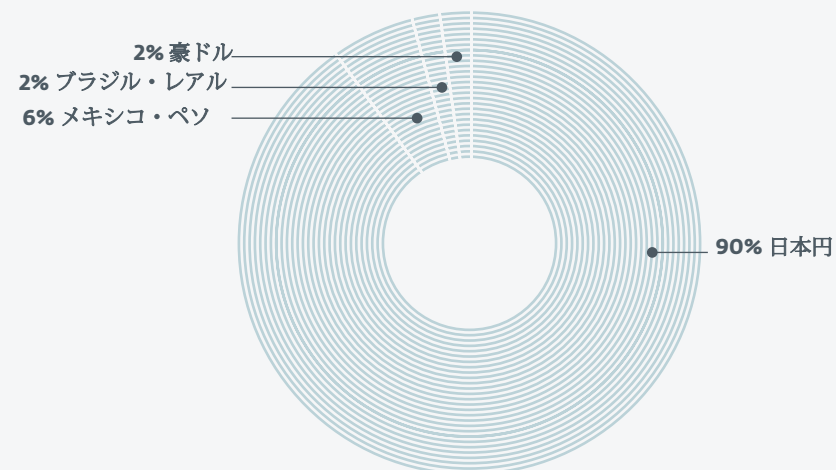
# 売出債

- アジア（東京とシンガポール）に財務部門の職員を配置し、リテール投資家への認知度向上に注力
- これまで、グリーンおよびソーシャル等のテーマ債を販売
- 2022年度（FY22）は24本の売出債を発行（総額145.7百万米ドル相当）
- IFCは最小単位 1 億円相当からの売出債買戻し（バイバック）プログラムを実施

2022年度（FY22）債券種類別内訳



2022年度（FY22）通貨別内訳



## 割引債プログラム

- 2009年6月、グローバルMTNプログラムを補完する目的でローンチ
- 米ドル、人民元建ての質の高い短期投資機会を提供
- 2022年度は総額75億米ドルを割引債プログラムの下で発行
- 2023年度（FY23）の残高上限は50億米ドル

- 米ドル、人民元建て
- 期間は翌日物から360日まで
- 最低金額は10万米ドル
- 証書なしの帳簿起債方式による発行
- IFCの財務代理人：ニューヨーク連銀
- Fedwireを通じた決済
- ブルームバーグ・ティッカー：IFC<go>2およびADN<go>8ディーラー10社を通じてオファー：

バークレイズ

**BofA証券**

**CastleOak**

ジェフリーズ

JP モルガン

Mesirow Financial

みずほ証券

野村証券

**UBS**

ウェルス・ファースト



# 現地資本市場での債券発行

現地資本市場の発展はIFCの戦略的優先事項

## Latin America

**Brazil – Amazonian Bond**  
2007 – BRL 200 million due 2011

**Brazil**  
2013 – BRL 439 million due 2016 (Green)\*

**Colombia – El Dorado Bond**  
2017 – COP 33.7 billion due 2022

**Costa Rica – Irazu Bond**  
2014 – CRC 5 million due 2019  
2018 – CRC 5.7 billion due 2023

**Dominican Republic – Taino Bond**  
2016 – DOP 180 million due 2023  
2012 – DOP 390 million due 2017

**Mexico**  
2018 – MXN 233 million due 2021 (Social)\*  
2016 – MXN 500 million due 2021 (Green)\*

**Peru – Inca Bond**  
2004 – PEN 50 million due 2007

**Peru – Green Bond**  
2014 – PEN 118 million due 2034 (Green)\*

## Africa

**Central CFA Franc – Moabi Bond**  
2009 – XAF 20 billion due 2014

**West CFA Franc – Kola Bond**  
2006 – XOF 22 billion due 2011

**Morocco – Atlas Bond**  
2005 – MAD 1 billion due 2012

**Namibia – Namib Bond**  
2016 – NAD 180 million due 2021

**Nigeria – Naija Bond**  
2013 – NGN 12 billion due 2018

**Rwanda – Twigire Bond**  
2015 – RWF 3.5 billion due 2018

**Rwanda – Umuganda Bond**  
2014 – RWF 15 billion due 2019

**South Africa – ZAR Green Bond**  
2015 – ZAR 1 billion due 2024

**Zambia – Zambezi Bond**  
2013 – ZMW 150 million due 2017

**Botswana – Kgalagadi Bond**  
2018 – BWP 260 million due 2024

## Middle East

**Gulf Cooperation Council – Hilal Sukuk**  
2009 – USD 100 million due 2014

**Sukuk al Wakala**  
2015 – USD 100 million due 2020

## India

**Masala Green Bond**  
2015 – INR 3 billion due 2020

**Masala Bond**  
2018 – INR 7.349 billion due 2021  
2018 – INR 8.7 billion due 2024  
2017 – INR 53.5 billion due 2022, 2024  
2016 – INR 8.6 billion due 2024, 2031  
2015 – INR 33 billion due 2018, 2019  
2013, 2014 – INR 72 billion due 2016, 2019, 2021, 2024  
2016 – INR 300 million due 2019

**Masala Uridashi Bond**  
2016 – INR 300 million due 2019

## China

**Panda Bonds**  
2006 – CNY 870 million due 2013

**Dim Sum Bonds**  
2014 – CNH 1 billion due 2019  
2014 – CNH 500 million due 2017 (Green)  
2014-2015 – CNH 4.7 billion due 2017  
2012 – CNH 500 million due 2014  
2011 – CNH 150 million due 2016

## Southeast Asia

**Cambodia**  
2019 – KHR 48.6 billion due 2021

**Indonesia – Komodo Green Bond**  
2018 – IDR 1 trillion due 2023

**Malaysia Wawasan-Islamic Bond**  
2004 – MYR 500 million due 2007

**Philippines – Mabuhay Bond**  
2018 – PHP 4.8 billion due 2033

**Myanmar**  
2018 – MMK 7.5 billion due 2023  
2018 – MMK 7.5 billion due 2023  
2019 – MMK 7.5 billion due 2023  
2019 – MMK 7.5 billion due 2023

**Bangladesh – BDT Bond**  
2020 – BDT 800 Million due 2022  
2020 – BDT 800 Million due 2025

**Sri Lanka – Serendib Bond**  
2022 – LKR 1 billion due 2028

## Europe and Central Asia

**Armenia – Sevan Bond**  
2013 – AMD 2 billion due 2016

**Georgia – Iveria Bond**  
2015 – GEL 30 million due 2017  
2017 – GEL 108 million due 2020  
2020 – GEL 100 million due 2024  
2020 – GEL 100 million due 2025

**Romania**  
2018 – RON 70 million due 2019  
2017 – RON 70 million due 2018  
2019 – RON 70 million due 2020  
2019 – RON 50 million due 2021  
2021 – RON 80.3 million due 2025  
2021 – RON 293.4 million due 2026

**Russia – Volga Bond**  
2012 – RUB 13 billion due 2017

**Turkey**  
2018 – TRY 100 million due 2022  
2017 – TRY 150 million due 2022  
2011 – TRY 202 million due 2015 (Green)\*

**Kazakhstan Bond**  
2017 – KZT 1.3 billion due 2018  
2018 – KZT 2 billion due 2022  
2018 – KZT 8.6 billion due 2026

**Serbia**  
2017 – RSD 507 million due 2020

**Uzbekistan – Samarkand Bond**  
2018 – UZS 240 billion due 2020  
2018 – UZS 123 billion due 2020  
2018 – UZS 113 billion due 2020  
2020 – UZS 15 billion due 2020  
2021 – UZS 363.3 billion due 2021

## 受賞歴

<p>2022</p> <p><b>Environmental Finance</b></p> <p>SSA Social Bond of the Year: USD 500mn social FRN</p>	<p>2021</p> <p><b>C M D PORTAL</b></p> <p>Top Deal Winner: First SSA to price debt offering using SOFR</p>	<p>2021</p> <p><b>GLOBAL FINANCE</b></p> <p>Outstanding Leadership in Sustainable Finance</p>	<p>2021</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>SRI Deal of the Year, SSA Deal of the Year and Local Currency Deal of the Year: SEK3bn Social Bond</p>	<p>2021</p> <p><b>Environmental Finance</b></p> <p>Impact Report of the Year</p>
<p>2021</p> <p><b>Environmental Finance</b></p> <p>SSA Social Bond of the Year: USD1bn social bond and social bond issuances in SEK</p>	<p>2021</p> <p><b>C M D PORTAL</b></p> <p>Best Debt Capital Market Investor Relations Team Award</p>	<p>2021</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Deal of the Year: AUD200m 1.5% Kangaroo Social Bond due 2035</p>	<p>2020</p> <p><b>Environmental Finance</b></p> <p>Initiative of the Year</p>	<p>2020</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Deal of the Year: EUR 20m Green NSV Bond</p>
<p>2020</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Editor's Award: IFC's Collaboration with GPIF</p>	<p>2020</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Deal of the Year: USD 19m Currency-Linked Social Notes due 2021</p>	<p>2019</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>APAC Editor's Award: GPIF and WBG's ESG Contribution</p>	<p>2019</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Deal of the Year: USD 12m 7.5% Synthetic Notes due 2021 Linked to KHR</p>	<p>2019</p> <p><b>Environmental Finance</b></p> <p>Impact Report of the Year</p>
<p>2019</p> <p><b>GlobalCapital</b></p> <p>Best Supranational Dollar Deal of the Year</p>	<p>2019</p> <p><b>Climate Bonds</b></p> <p>Green Bond Development Bank of the Year</p>	<p>2018</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Power Performer: Uridashi</p>	<p>2018</p> <p><b>GlobalCapital</b></p> <p>Most Innovative SSA MTN Issuer</p>	<p>2017</p> <p><b>mtn-i</b></p> <p>Investor Solutions: Triple-A Accelerated Return Notes</p>

インパクトをもたらす投資

# 付属資料





## イエメンの企業が数百万人に食糧を供給

イエメンは飢餓の危機に瀕しています：1,740万人が十分な食事ができず、2022年末までにさらに160万人が「緊急飢餓レベル」に達すると予想されています。

ウクライナにおける戦争の影響は、世界的な小麦価格の高騰とイエメンの民間部門の購買力の低下により、イエメンにとって特に深刻です。緊急事態を引き起こし、悪化させている要因としては、8年にわたる激しい紛争、経済封鎖、通貨暴落、断片化した銀行システム、気候変動に起因する洪水、COVID-19の流行、そして最近では、小麦やその他の基本的物資の価格を大幅に上昇させたウクライナでの戦争が挙げられます。

イエメン最大の食料コングロマリットの一つであるHSAグループは、小麦粉、砂糖、小麦、乳製品などの食料の在庫を適切なレベルに保ち、必要なコミュニティに配布することを保証するために主導的な役割を担っています。HSAグループは、輸送、インフラ、船舶の関連事業も行っているため、イエメンの武装勢力によって破壊された道路の再舗装や橋の再建、最も高いリスクに晒されている人々に食糧を届けるために必要な車両や燃料を供給する能力を持っています。

資金調達の制約により、HSAが国内で食糧を提供する長期的な役割は大きく損なわれています。イエメンは食料の約90%を輸入していますが、イエメンの銀行システムが脆弱であるため、国際的な供給業者は他の国のようにイエメン企業との信用取引をしていないのです。このように世界の金融市場へのアクセスが限られているため、HSAのような企業は、全ての取引において外貨での前払いを余儀なくされています。



Loading dock of an HSA food-production company in Aden.

Photo: Courtesy of HSA Group

IFCは、HSAに運転資金を提供するため、最大7,500万ドル（協調融資ベース）の資金を提供しています。この融資は、食糧不足の解消と、イエメン全土の町や村への主食の供給など、サプライチェーンの持続可能性の確保に貢献するものです。

今次融資は、IFCにとってイエメンのアグリビジネス分野への10年以上ぶりのものであり、脆弱な紛争国のビジネスを支援する広範な戦略に沿ったものです。



## プロジェクト事例：トルコでジェンダー平等の推進と金融包摂の促進



世界経済フォーラムの「グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート」によると、トルコの労働力参加率における男女格差は、OECD加盟国および新興国の中でも高いとみられています。当該レポートは、経済参画とその機会のカテゴリーにおけるジェンダーギャップについて、156カ国中140位にトルコをランク付けしています。

同国の女性の金融と雇用に係る機会へのアクセスを高め、より男女平等なビジネスを実現するため、IFCは同国最大の開発銀行であるTürkiye Sinayi Kalkinma Bankasi (TSKB) に1億ドルの融資パッケージを提供し、女性が参画・包摂される（women-inclusive）トルコの中堅企業に資金を割り当てることにしています。

女性が参画・包括される企業（women-inclusive enterprise）として認定されるには、オーナーや役員、上級管理職の一定数が女性であること、有効な男女平等認証（gender equality certification）、IFCのジェンダー・ツール・キットの最低得点を有するなど、特定のジェンダー基準を満たすことが必要です。

TSKBとIFCは長年のパートナーであり、IFCは1963年から同行に融資を行い、エネルギー効率、再生可能エネルギー、公害削減で協働してきました。同行は2016年にジェンダーファイナンスを重点分野と定め、以来、同分野を体系的に整備・発展させてきました。

IFCは50年以上にわたり、トルコの民間セクター開発を支援しており、2021年6月時点で43億ドル超のエクスポージャー（コミット・ベース）を有しています。

## 廉価な薬品をメキシコへ

メキシコは中所得国の上位に位置しますが、生活水準に大きな格差があり、高齢化が進み、慢性疾患が増加しています。また、慢性疾患の発生率も高まっています。医薬品会社Grupo Neolpharmaは、低・中所得者層向けの高品質で低価格の医薬品の開発・製造に焦点を当てたビジネスモデルを構築しています。同社は、医薬品のバリューチェーンにおいて、さまざまなセグメントに従事しています。

2021年にカナダ・IFC ブレンド型気候金融プログラムからの1,500万ドルの譲許的融資を含む3,000万ドルの融資パッケージを受けた同社は、IFCとの長期的な協力関係を築いています。この3,000万ドルの融資には気候変動緩和の要素が含まれており、メキシコの医薬品市場におけるベストプラクティスを体現しています。

プロジェクトにはワクチンなどの注射剤を製造する新工場など、設備、投資関連のものもありましたが、持続可能で柔軟な分野への資金使途が認められており、例えば、Neolpharmaは、ケレタロ自治大学など地元の研究機関と提携し、新製品の特許取得の可能性を探っています。NeolpharmaとIFCの両社は、家族経営の小さな会社が、複雑なグローバルライフサイエンス業界で有意義な競争ができるほど技術的に高度化できることを実証すべく挑戦を続けています。



Grupo Neolpharma

## プロジェクト事例：ウズベキスタンにおけるグリーンバンキングキャパシティの開発



Uzpromstroybank's branch office.  
Photo: Courtesy of Uzpromstroybank

中央アジアで最も人口の多い国、ウズベキスタン。ウズベキスタンは、中央アジアで最も人口の多い国です。政府は2017年に国家開発戦略を打ち出し、外資への開放政策と採りました。

その鍵となるのが、国営銀行の民営化です。IFCは2019年から、同国第2位の銀行であるウズプロムストロイバンクと協力し、同行のコーポレートガバナンスの強化、業務の商業化、意思決定への国の関与の低減など、民営化への準備を進めるとともに、同行のグリーンバンキングのフランチャイズ構築も支援しています。

今般のIFCのウズプロムストロイバンクへの7500万ドルの融資は、ウズベキスタンにおいて、気候変動に配慮したプロジェクトに融資し、中小企業への融資を拡大するものです。市場では希少な長期資金は、銀行の変革をさらに後押しすると見込まれています。また、IFCは当該融資を株式に転換するオプションも有しています。

この融資の用途は、中小企業向け融資であり、その50%は気候変動ファイナンスに充てられることから、同行のグリーンバンキング・プログラムを拡大させることができます。

ウズベキスタンは、同国の金融セクターの変革の一環として、国有銀行の株式を投資家に売却することを計画しています。民営化により、新たな資本、国際的な専門知識、最新の技術が導入され、銀行部門とその顧客に利益をもたらすことが期待されます。現在、ウズベキスタンの銀行部門は国有銀行が太宗であり、資産ベースで83%が国有銀行となっています。



インパクトをもたらす投資

# 連絡先





# IFC 財務部門

## マネジメント

### John Gandolfo

Vice President and Treasurer  
+1 202 458 0674  
jgandolfo@ifc.org

### Tom Ceusters

Director,  
Treasury Market Operations  
+1 202 473 0821  
tceusters@ifc.org

### Flora Chao

Global Head of Funding  
+1 202 629 6353  
fchao@ifc.org

## 広報

### Irena Guzelova

Senior Communications Officer  
+1 202 458 4474  
iguzelov@ifc.org

## 資金調達

### Washington

#### Yuri Kuroki

Financial Officer  
+1 202 459 7274  
ykuroki@ifc.org

#### Zauresh Kezheneva

Associate Financial Officer  
+1 202 473 4659  
zkezheneva@ifc.org

#### Discount Notes

#### Umpai Israngkura Na Ayudhya

Financial Officer  
+1 202 560 3467  
uisrangkuranaayudhya@ifc.org

### London

#### Elena Panomarenko

Head of Funding for Europe  
+44 207592 8532  
epanomarenko@ifc.org

#### Samer Ibrahim

Financial Analyst  
+44 207592 8022  
sibrahim5@ifc.org

#### Laura Stirling

Program Assistant  
+44 207592 8415  
lstirling@ifc.org

### Singapore

#### Marcin Bill

Head of Funding for Asia Pacific  
+65 65013603  
mbill@ifc.org

#### Hiroyasu Hirano

Associate Financial Officer  
+65 65013636  
hhirano@ifc.org

### Washington

#### Vera Sevrouk

Senior Financial Officer  
+1 202 375 3573  
vsevrouk@ifc.org

#### Obert Limbani

Associate Financial Officer  
+1 202 473 1961  
olimbani@ifc.org

#### Marsha Monteiro

Financial Analyst  
+1 202 458 5119  
mmonteiro@ifc.org

### Tokyo

#### Kenji Kanamoto

Senior Financial Officer  
+81 3 3597 6699  
kkanamoto@ifc.org

IFC · 2121 Pennsylvania Avenue NW · Washington DC 20433 USA · +1 202 473 8392  
website: [ifc.org/investors](http://ifc.org/investors) · email: [investors@ifc.org](mailto:investors@ifc.org) · Bloomberg: **IFC<GO>** · twitter: @ifc\_investors

# 免責事項

---

資料は参考資料としての目的のみに作成されており、ここに含まれる情報は要約されたもの、または不完全なものである場合があります。IFCは、本資料の正確性や完全性に関してはいかなる保証も表明しておらず、本資料の更新義務も負いません。

本資料は目論見書ではなく、IFCが発行するいかなる債券の評価基準となるものではありません。この情報は、本資料に記載する商品やサービスの予約または購入を勧誘または提供するものではありません。本資料の使用に起因する直接的、間接的、偶発的、特別または必然的な損失、損害、負債、費用の請求に対しては、そのような損害の可能性についてIFCが報告を受けていた場合を含め、いかなる状況においても、IFC および IFC の関係機関は責任を負いません。

IFC に関するより詳しい情報については、IFC の最新の『インフォメーション・ステートメント』、財務諸表およびその他の情報が以下の投資家向けウェブサイトからご覧いただけます。

[www.ifc.org/investors](http://www.ifc.org/investors)

This document has been prepared for informational purposes only, and the information herein may be condensed or incomplete. IFC specifically does not make any warranties or representations as to the accuracy or completeness of these materials. IFC is under no obligation to update these materials.

This document is not a prospectus and is not intended to provide the basis for the evaluation of any securities issued by IFC. This information does not constitute an invitation or offer to subscribe for or purchase any of the products or services mentioned. Under no circumstances shall IFC or its affiliates be liable for any loss, damage, liability or expense incurred or suffered which is claimed to have resulted from use of these materials, including without limitation any direct, indirect, special or consequential damages, even if IFC has been advised of the possibility of such damages.

For additional information concerning IFC, please refer to IFC's current "Information Statement", financial statements and other relevant information available at [www.ifc.org/investors](http://www.ifc.org/investors).